

様式 - A

用語	流域	水系	本川	支川	派川
よみ	りゅういき	すいけい	ほんせん	しせん	はせん
解説	一つの河川に降った雨が集まってくる範囲。	同じ流域内にある河川、湖沼、水路の総称。一級水系、二級水系、単独水系などがある。	その水系を代表する河川。本川は一般的に水量、長さなどが同一水系の中で、最も大きい場合が多い。	他の川に合流する河川。本川に合流しているもの、支川に合流しているものがある。	ある川から分かれて流れる河川。派川には放水路など人工的に分岐させたものもある。
用例 (主に活用される場面)	利根川流域の降り始めからの流域平均雨量は100mmです。	現在、利根川水系の本川の利根川、支川の鬼怒川等が増水中で警戒が必要となっています。			江戸川は利根川の派川です。
関連用語・類似用語	集水区域(同義語):主に下水関係で使われる 流域平均雨量(関連用語):流域内に降った雨量の平均	一級水系(関連用語、次項)	本流(同義語)	支流(同義語)	
注意すべきポイント (防災上の注意すべき点)	川に流込む降雨の範囲を示す。過去の洪水時の流域平均雨量は防災上の目安となる。				